**ＥＳＤ推進功労賞をいただきました。**

昨年末の**ジャパンＳＤＧｓアワード受賞に続き**、第10回ユネスコスクール全国大会を記念し、2018年12月8日、文部科学省大山真未国際統括官を通じ、ユネスコ国内委員会会長賞・**ＥＳＤ推進功労賞をいただきました。皆様に感謝し報告いたします。**

皆様と一緒に進めたＥＳＤが日本の教育を、学習指導要領を大きく変えていくところにユネスコスクールの真価があります。

私は元々、暴走校長ですから、これが大事だと思ったら周りが見えなくなり、皆様に様々なご迷惑をおかけしてまいりました。所かまわずメールを送り付けたり、文部科学省に乗り込んだり、色々なところで発信したり、少しは喧嘩も売ったり買ったりしてきました。

それが、「ＥＳＤ推進賞」などという名誉なお話になりました。これは、多田孝志先生をはじめ先輩の先生方のご指導のおかげであるとともに、教育実践を支えてくださった皆様、そしてＥＳＤの推進にともに携わってくださっている多くの皆様のおかげと感謝しております。

　これからも、持続可能な世界の実現を目指して、自分のできることに精一杯取り組み、日本や世界を教育の力で変えていけるよう頑張らねばと思っております。

また、ユネスコスクールが１０００校になろうとも、その中で充実した実践のできている学校がどれほどあるのか、また全国３００００校の教育の実態はどうなのだろうかと考えると、それをどうやったら一層充実できるのかなどを考えると、やるべきことがありすぎるようにも思います。そして世界のことを考えると、もう茫然としてしまいます。

ＥＳＤ推進功労賞を設けてくださったのは、「今度は皆さん方が先頭に立って頑張ってください。みんなで教育を盛り上げ、より良い世界を実現していきましょう」ということだと思います。頑張りましょう。

ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　手島利夫